

## 和光官舎自治会

会長 中村 興生



自治会活動・避難訓練

和光官舎自治会は、自衛隊の会員数約700世帯の大規模自治会です。

特性といたしましては、自衛隊関係官舎として当然のことながら、自治会加入率100%です。全世帯概ね55歳未満の現役世代です。地方の自衛隊官舎と比較すると首都圏官舎事情の故、

朝霞駐屯地への勤務のみならず都内の多くの陸・海・空の部隊、機関等に勤務する様々な自衛官・事務官・技官の方々が混在します。また、若い子育て世帯及び近年では単身世帯の増加が目立つ等の特色があります。

転勤等の異動により住民の入れ替わりが激しい関係上、自治会役員は毎年改選されることになっていますが、全世帯住民把握等規律ある良好な環境を維持し、自治会運営が行われているものと確信しています。

今年の自治会運営重視事項は自治会員の防災意識及び環境整備意識の高揚について取り組んでいます。

自衛隊官舎住民として、

当然防災意識はあるものの昨年は自治会として防災訓練を実施していませんでした。今年は毎年行われてい

る和光宿舎A・B棟自治会と合同で12月7日に両自治会員600名以上の参加を得て、避難訓練を実施させていたいただきました。松本武洋和光市長、田上安男市議会議員、榎本俊明和光第2中学校長、曾根田由貴子広沢小学校長、廣塚雅史危機管理監のご臨席を賜り、お話をいただき感謝住民方々の防災意識の高揚が図られたものと思います。また電気、通信等使えない災害に見舞われた場合の連絡手段の一つとして、11月24日に官舎の中央に位置している集会所前に防災用掲示板を新設しました。

環境整備につきましては、ここ数年行っていないので

した不用自転車等の撤去を各棟ごとクリーン・オブ・和光に併せて実施しました。数多くの不用自転車等鉄くずが排出されており各棟の自転車小屋がともスツキリして綺麗になりました。

転勤等住人の入れ替わりが激しいため、近年では住人相互のつながり付き合いは希薄になったと感じられることもあります。そのような状況を改善するための取り組みが、今後、自治会の役目であると認識しています。

今後も自治会運営方針『明るく安全で協力し合える町づくり』を念頭において自治会運営を行い、市行政、自治会連合会、社会福祉協議会への協力ができればと思っていますので和光市民の皆様今後ともよろしくお願い申し上げます。